

平群

Heguri



≡ 議会だより

9月定例会 No.233

平成23年11月1日

発行：奈良県平群町議会

第5回定例会(9月)

議決結果・質疑あれこれ 2～4

決算審査特別委員長報告 5～7

文教厚生委員長報告 8～9

町政を問う！ 一般質問 10～15

議会報告会開催のお知らせ 16



運動会で力強く宣誓をする応援団長

第5回定例会こんなことが決まりました

第5回定例会は9月6日招
集され11日間の会期で開催さ
れました。

初日、町長より税条例の一
部改正1件、補正予算3件、
工事請負契約締結1件、シス
テム更新業務の契約締結1
件、22年度一般・特別会計決
算の認定11件、請願1件が上
程され、内6件が即決されま
した。

決算認定は、6名の委員で
構成する決算審査特別委員会
を設置して付託、請願は文教
厚生委員会に付託され議案の
審査を行いました。

一般質問は13日に行われ、
11名の議員が質問しました。

最終日には、決算審査特別
委員会の審議結果の委員長報
告を受け、報告のとおり認定
されました。

請願は、賛成少数で不採択
となりました。

議員提出議案の意見書1件
は賛成多数で可決し、付議さ
れた全ての議案を議決し閉会
しました。

議決結果賛否一覧 ○は賛成 ●は反対で表示（議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します）

提出区分	議案名	議決結果	井戸 太郎	戎井 政弘	奥田 幸男	森田 勝	植田 いずみ	山口 昌亮	高橋 幸生	窪 和子	山田 仁樹	繁田 智子	馬本 隆夫	下中 一郎
町長提出議案	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません
	平成23年度平群町一般会計補正予算（第3号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成23年度平群町清掃センター焼却設備修繕工事の請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平群町住民情報システム更新業務の契約締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	●	●	●	○	○	●	○	○	
	平成22年度平群町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町学校給食費特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町奨学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	平成22年度平群町用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	小学校再編成の早期実現を求める請願書	不採択	●	○	○	●	●	●	○	●	●	○	○	
議員提出議案	原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める意見書	原案可決	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	●	

質疑あれこれ

9月議会に上程された補正予算などの議案の中から
主な質疑について報告します。

一般会計補正予算（第3号）

県の補助対象事業採択による増額と

地方交付税の減額など

1億2766万5千円追加

緊急雇用対策事業等県の補助
対象事業の採択による増額と、
地方交付税の減額など、合計
1億2766万5千円を歳入・
歳出にそれぞれ追加します。

質問

地域防災対策ア
クションプラン策定業務
とは、具体的にどのような事業
なのか。

答弁

10年来、地域防災計
画の抜本的な改正が出
来ていないので、見直していく。
避難所の運営マニュアルや組織
の問題、地震対策についても情
報などを取りまとめて検討して
いく。また現在、災害弱者対策
や災害時要援護者名簿などもあ
るが、それらも含めて体系的に
まとめていきたい。

質問

春日丘地区防火水槽
用地購入費と工事につ
いて、施設の概要と位置はどこ
か。

答弁

消防水利計画に従っ
て、春日丘2丁目の
324㎡を購入し、今年度ので
きるだけ早い時期に完成させた
い。地下埋設なので上は平地に
なる。利活用については、地域
の防災活動の拠点という方向
で、自治会と話をしていきたい。

質問

防災諸費県事業とい
うことで、北小学校の
北西産地の防災工事設計委託費
が組まれている。町が1割負担
するが、他の民地でも、県に補
助金を要望していくのか。

答弁

町民の生命財産を
守っていく意味でも出
来るだけ要望していきたい。

質問

「地域の居場所づく
り」事業補助金の内容
はどういったものか。

答弁

小学校区ごとに上限
100万円の予算がつ
く。東小学校区は、かしのき荘と
地域包括支援センターの設備
費、西小学校区では、人権交流セ
ンター、南小学校区では、椿井公
民館、北小学校区では、農村環境
改善センターの維持補修に使う。

質問

小学校の図書購入費
を減額して、観光文化



あすのす平群館内

交流館（あすのす平群）で購入
することになっているのはなぜ
か。

答弁

あすのす平群で必要
な図書を購入し、当面
それを各学校にお貸しするとい
う形態をとっていく。あすのす
平群と学校図書館とは、当然役
割が違うが、交付金を利用して
学校図書も同時に整備したい。

質問

自動車の購入、リ
ース費用があげられてい
るが、買替えやリースの基準は。

答弁

新車購入は財政難で
控えていたが、10
0%補助を活用できるものはそ
れで購入して、事業のメニュー
に限られるものについてはリ
ースという分類をしている。

質問

歳入で交付税が、去
年と比べて7000万
円ぐらい減っている。なぜこれ
だけ減ったのか。

答弁

一番大きな原因は基
準財政収入額、個人住
民税の所得割をはじめとして各
税収が見込みより1000万円
程度の乖離が生じていたため、

結果として算定では当初予算に
対して3000万円程度の減収
になった。

質問

町制40周年記念事業
ということ、史蹟の
案内資料の作成費用が計上され
ているが、どういふものか。

答弁

今年立ち上げていた
だいたボランティアガ
イドの方々が主になって、いわ
ゆる史蹟・文化財を中心とした
観光資料を作成していきたい。

全会一致で可決しました。

国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）

平成22年度決算に伴う繰越金
等の予算措置をし、歳入・歳出
それぞれ1億2598万6千円
を追加します。

質問

6月の補正で資産割
を引き下げて基金
4400万円を取り崩してい

る。それを除いて9500万円

基金を積んで、現時点で基金は
1億円以上ある。12月をめどに
引き下げを検討したいといつて
いたが、見通しはどうか。

答弁

見直しについては、
年内をめどに検討した
い。

全会一致で可決しました。



特定検診での採血のまよう

介護保険特別会計 補正予算（第2号）

平成22年度決算に伴う精算分
として県負担金及び繰越金を増

額します。結果、保険事業勘定
では101万7千円の増額とな
りました。

質問

この2年間単年度収
支が赤字ということ
で、基金が1億5000万円ま
で減っているが、21年度決算で
約850万円の赤字、22年度は
約1600万円の赤字である。
今年度の収支決算の見込みは。

答弁

21年度、22年度とも
に大きく赤字額が増え
てきており、23年度も赤字にな
ると考えられ、基金からの取り
崩しが発生すると考えている。

全会一致で可決しました。

清掃センター焼却設備 修繕工事請負契約の締結

1号炉の燃焼設備、通風設備、
排ガス処理設備等の総合的修繕
工事を行います。総額7250
万6700円。

質問

工期が年度末までの
半年間となっている
が、ゴミ処理業務に支障はない
のか。

答弁

工事設備は主に工場
製作で、据付について
は1月中旬から3月中旬を予定
している。約2カ月でピット内
の堆積ゴミ量としては約320
トンと想定している。ピットの
容積からすると維持はできると
考えている。工事終了後は速や
かに処理していく。

全会一致で可決しました。

住民情報システム 更新業務の契約締結

クラウド方式による新システ
ムを導入。平成24年4月から5
年間契約で、総額1億6238
万7540円。

質問

新システムを導入す
るメリット、デメリッ
トは。

答弁

情報セキュリティの
効果、また経費の削減
が大きなメリット。クラウド化
ということ、奈良市内の耐震・
免震の機能を持ったセンターで
サーバーを管理する。通信回路
ケーブルが大規模な災害等に
よって遮断されると大きな支障
をきたすことになるが、災害時
には他に優先して復旧される。
激甚災害が起きた場合、平群
町ではサーバーのある建物も崩
壊の可能性があるため、セン
ターでの保管は逆にメリットと
いえる。

全会一致で可決しました。

クラウド方式とは？

現行では、役場庁舎内にサーバーがありますが、クラウド方式を導入すると、庁舎とは別のセンターにサーバーを置き、通信は自治体専用の大和路情報ハイウェイを通して行い、情報もセンターで管理することによって、災害時・非常時にも町の重要なデータが保護されます。

平成22年度 一般会計・特別会計 決算審査特別委員会委員長報告

一般会計の決算は 歳入 72 億 324 万円
歳出 70 億 7707 万円

平成22年度一般会計と各特別会計決算について審査を行いました。主な審議の内容と結果をご報告します。

一般会計

議会費、総務費

本庁舎の宿日直の業務が年度途中から委託したことについての質問には、経費は若干増えるが、職員の負担軽減による健康管理と、宿直の安定した体制づくりが出来ることでメリットがあったと答弁。

自主防災組織結成支援補助金の使途の質問には、5団体が結成され、そのうち申請のあった2団体に補助金を支払ったとの答弁。

臨時職員の雇用期間についての質問には、基本的には地方公務員法第22条によって半年雇用、更新1回が原則で最長1年となっているが、保育士など資格職は現場の状況を配慮して概ね3年という雇用もあると説明がありました。

不用額について、一般会計全体で1000万円以上が5件あ

るが予算計上の積算が甘いのではとの質問に、設計金額で予算計上している。入札差金として不用額がでているとの答弁。

広報マイタウンについて、お粗末というか、紙も悪いし批判があるが、いまのまま続けるのか、少しお金を出してましなものにするのかとの質問には、可能な限り予算の確保に努めたいとの答弁でした。

土地開発公社からの買い戻し額は244万895円だが、この用地の同公社の簿価は3254万円で端数にも満たない。差額の損失は公社で埋めるようだが、それでやっていけるのか、またこの責任の所在についての質問には、公社の経理基準の改正で、特定土地という概念が新たに示され買い戻しはそれまでの簿価処理から時価処理になったことによるもの。ただし、公社の余剰金の範囲で特定土地化して、損失分を公社で持つという方針。責任問題は、一つ一つの事業用地の具体的な検証は必要との答弁でした。

民生費

学童保育所の入所人数について、値上げ等もあったが、かな

り人数が減っていることをどのように分析しているのかとの質問があり、児童数の減は値上げのこともあるが、値上げしても他町より飛び抜けて高いということではないと答弁。

しかし、逆に特色や独自性がなく魅力がなくなり、学童に入れてまで働きに行くメリットが少なくなったと思うがどうかとの質問には、値上げ後、児童数の月平均は21年度が129名、22年度が131名、23年度直近は144名と徐々に伸びているとの答弁がありました。

高令者文化・スポーツ振興交流事業の補助金が前年度から減った理由の質問には、単価が9500円から7000円になり、スポーツクラブが1つ減って3クラブに、文化クラブが28から30になったことによるものと説明。

各クラブへの補助の方法について、スポーツ関係と文化関係のクラブの違いなど、それぞれの実情に応じて考える必要があるとの指摘には、スポーツクラブが減っている点も含め各クラブの実態確認もして対応していくと答えました。

プリズムへぐりの建築設備検査委託料が21年度5万2500

円まで下がっていたのが9万円になっている。その他の施設でも同様との指摘に、関係課合同で入札している。22年度は基準が変わったことで単価が上がったと業者から聞いていると答弁。

しかし、他の市町村では基準が変わってもそのままで努力している。しっかりと精査をとる意見が述べられました。

衛生費、労働費

予防費が626万円の予算に対し385万円の不用額があることについての質問には、子宮頸がん予防ワクチンを国が大々的に広報していたことも考慮して予算を組んだが、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチンで医療事故があり厚生労働省から予防接種を見合わせてほしいという要請があった。また、日本脳炎も全面的な予防接種の予定が限定的なものになったことなどが影響したと答弁。

子宮頸がん予防ワクチンの接種率は中学3年生が64%、高校1年生が70%弱。接種率が低い。もっとPRすべきとの質問には、子宮頸がん予防ワクチン接種が国の補助基準にもとづき全

国の市町村で実施されたため、ワクチンが不足するというところで、国から1回目を接種した方のみに2回目をするということになった。23年度になってワクチンが量産され7月20日からすべての方が接種できるようになった。今後広報に努めたいとの答弁がありました。

農林水産業費、商工費、土木費、消防費

農林業振興費で地域ブランド商品開発業務委託の具体的な成果はこの質問には、黒豆の作付けによる黒豆煮、ウリを栽培して奈良漬の商品化をめざしている、中華料理の食材のマコモダケを秋に収穫すると答弁。

遊休農地を借り上げて住民に貸し出すふれあい農園をもっと増やす考えがあるのかとの質問には、全109区画すべて使用していただいている。いま把握している条件の良い遊休農地はほぼ活用されているが、ニーズがあるということであれば、農業委員会とも相談して対応したいとの答弁がありました。

上庄地区の紀氏神社隣接地に計画しているホテルの里整備事



遊休農地で栽培したマコモダケの収穫



食用部分

業についての質問には、神社南側の1400㎡の町有地を公園整備する。維持管理は町で行うが、管理方法には今後、地元と協議をして決めたいとの答弁がありました。

工事の発注について、災害の復興時に大きな役割を果たす町内業者をどのような考え方で選定しているのかとの質問には、基本は地元業者優先だが、出来ない部分とか、業者数が少ない場合は町外から入ってもらうと答弁。

駅前周辺区画整理事業の執行状況についての質問には、予算

ベースで21年度が22年度へ、22年度が23年度へ繰り越し、当初計画より若干遅れているとの答弁がありました。

教育費

外国語活動実践研究事業費が0円、やらなかったのかとの質問には、南小学校で21年度と22年度、文部科学省の100%補助事業で予算計上したが、国の事業仕分けで事業廃止になり22年度は予算執行しなかったと答弁。

就学奨励費の実績については、小学校の準要保護が91名、要保護が3名、特別支援学級が15名。中学校は準要保護が36名、要保護が5名、特別支援学級が4名との答弁でした。

残飯などの汚泥処理委託が前年度より多くなっている要因については、トン当たりの単価が前年度の3万6750円から22年度4万4000円に入札で上がり、処理量も前年度から増加したことによるものとの答弁がありました。

歳入全般

町民税が減収になったことをどのように分析しているのかとの質問には、1000万円以上の所得者が減り、100万円から200万円所得が増え、多いところの所得と少ないところの所得が逆転したこと、所得割の納税者数が前年度より157人、給与所得者が230人減っていると説明しました。

当初予算と比べて、町民税などの自主財源が1億8000万円ほど減り、地方交付税などの依存財源が4億3000万円ほど増えているのかとの質問には、自主財源は当初予算が42.86%、決算が38.47%、依存財源は当初57.14%、決算が61.53%と変化している。要因は、町民税が5000万円程度の減、交付税や国県支出金が伸びていることによるものと答えました。

討論

22年度当初予算には、起債残高が101億円にもなること、若い世代の定住促進施策も踏まえていないことなどから反対した。しかし、本決算は、依存財源に恵まれたこともあって結果的に単年度で

2億円以上の黒字になり、長年の赤字団体から脱却したという結果から、特に反対すべきでもないという判断から認定に賛成する旨の討論がありました。

全員異議なく認定することに決定しました。

住宅新築資金等貸付事業特別会計

公債費残高と滞納の状況についての質問には、公債費残高が1億6972万余円で、滞納額は1億3930万余円と答弁。滞納対策として、抵当権の設定や公正証書などの方策をとってきた。現在も簡易裁判所への調停申立1件、競売申立2件を行っているとの答弁がありました。

全員異議なく認定することに決定いたしました。

国民健康保険特別会計

特定健康診査の受診率が下がっている要因についての質問

には、金銭的な問題でなく、医
者にかかっている方が検診を差
し控えていることもある。受診
勧奨や啓発をやっているが受診
率アップに繋がっていないとの
答弁がありました。

当初予算と決算では1億50
00万円ぐらい乖離。予算編成
に問題があるのではとの質問に
は、予算編成をする10月頃は医
療費が4〜5カ月分くらいしか
わからない。そんな状況で、通
年決算見込の7%から9%の伸
びで予算を組んでいるとの答弁
がありました。

討論

平成19年度7700万円の
赤字だったのが3年間で
1億8500万円の黒字に
なった。

国保税の値上げは、後期高
齢者支援金の割り増しだと答
弁されてきたが、他の保険か
らの繰り入れ分などが明確で
ないので様子を見るべきと指
摘した。3年間でこのような
結果になったことから、この
決算は認定できないとの反対
討論がありました。

一方、互助制度は世界にもま
れ。日本が先端をきっている
と聞いている。破綻すれば大変な
ことになる。今後行政の側に
立つて真剣に考えなければなら
ないので今回は賛成するとの討
論がありました。

採決の結果、賛成多数で認定
することに決定しました。

老人保健特別会計

全員異議なく認定することに
決定しました。

下水道事業特別会計

進捗率の質問に、普及率は
13・2%、その中の水洗化率は
75%、生駒郡での順位は最下位
との答弁でした。

全員異議なく認定することに
決定しました。

農業集落排水事業 特別会計

接続率の質問に、対象件数90
件に対して接続済42件との答弁
がありました。

全員異議なく認定することに
決定しました。

学校給食費特別会計

介護保険特別会計

奨学資金貸付事業 特別会計

後期高齢者医療 特別会計

用地先行取得事業 特別会計

以上5件は、全員異議なく認
定することに決定しました。

(委員長 山口昌亮)

平成22年度 一般会計・特別会計決算

(△はマイナス 単位：円)

会計区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り 越す財源	実質収支額
一般会計	7,203,245,826	7,077,073,239	126,172,587	21,471,000	104,701,587
特別 会 計	住宅新築資金等貸付事業	59,219,384	81,321,006	△22,101,622	△22,101,622
	国民健康保険	2,354,844,296	2,235,081,272	119,763,024	119,763,024
	老人保健	8,230,867	8,230,867	0	0
	下水道事業	369,510,498	359,542,751	9,967,747	2,906,822
	農業集落排水事業	35,207,932	35,207,932	0	0
	学校給食費	75,185,841	74,845,134	340,707	340,707
	介護保険（保険事業勘定）	1,168,034,406	1,162,898,879	5,135,527	5,135,527
	介護保険 （介護サービス事業勘定）	9,074,952	8,461,865	613,087	613,087
	奨学資金貸付事業	359,074	359,074	0	0
	後期高齢者医療	231,899,091	230,480,691	1,418,400	1,418,400
	用地先行取得事業	836,064,908	836,064,908	0	0

文教厚生委員会委員長報告

「小学校再編成の

早期実現を求める請願書」

去る9月6日平群町議会第5

回定例会本会議において、当委員会に付託を受けました請願第4号 小学校再編成の早期実現を求める請願書の審査結果を報告いたします。

請願の要旨は、「平群町立小学校再編成アクションプランを早急に実現していただきたい」ことを求めるものです。

質疑では、小学校の再編成について再編成検討委員会の答申を最大限に遵守する必要があると考えるが、現時点での町当局の見解を質され、中間報告会・住民説明会・懇談会等おこなってきたが、6月議会で補正予算が可決されなかった事実を考えると十分に取り組みが出来たとは言えない部分もあり反省しなければならないとの答弁

がありました。

また、様々な意見があること

から全町民にアンケート調査や公聴会等の開催、さらには住民投票など住民の意見集約が必要ではと質され、いろいろな形で住民の意見を集約し、分析することとは大事だと考える。アクションプランに基づく事務作業は、6月議会の結果を受けて一旦中断しているが、再編成自体は重要な課題である。教育委員会と

しても、具体的な取り組みを出るだけ早い時期に示したい。その中で、どのような再編成が一番望ましいのか引き続き考えていかなければならないとの答弁がありました。

アクションプランに基づく事務作業の一時中断について、臨時議会において駅前開発との関係で、土地購入費8千数百万円

の補正予算が通っている。仮換地指定は23年度で終わらせたい旨の答弁があったが、シミュレーションでは東小の生徒は減っていくのに土地を購入するのか。これは、来年4月1日以降にアクションプランの事務手続きを、再開されようとしているのかと質され、再編成するかしないかに拘わらず、東小学

請願文書表

受理番号 第4号 受理年月日 平成23年9月1日
件名 小学校再編成の早期実現を求める請願書
請願の要旨 平群町立小学校再編成アクションプランを早急に実現していただきたい

理由 全国的に少子高齢化といわれている今、平群町でも就学時期の人口が減少してきて、小学校によっては1学年1クラスという現象が続いています。少子化が進む中で学校教育の将来のあり方を検討するために、平成18年12月に学校規模適正検討委員会が設置され、翌年に、「少人数学級のよさを生かし、複数学級からなる規模の学校が望ましい」という提言がありました。

町ではこの提言を受けて、多くの住民代表に入っていたいた再編成検討委員会を設け、その結論を受けて教育委員会と役場が鋭意検討し、昨年10月「平群町立小学校再編成アクションプラン」が発表されました。北小学校は現在のまま残し、東・西・南の3校を廃校にして、東小学校の位置に、東小学校の校舎をリニューアルして新しく小学校を開設するというものです。

東・西・南の各小学校に通っている皆さんや、OBの方々にとっては「受け入れがたい」話かも知れません。けれど、町の将来を担っていく子どもたちの教育環境を考えれば、1学年1クラス、それも一桁の学童数という状態は一刻も早く解消して、より多くの学友の中で切磋琢磨し、またクラス替えやクラス対抗などの経験を子どもたちにさせることは、学力だけでなく社会性を身につけるうえでも必要だと思います。

また、幼保一体化や小中一環教育といった教育環境の充実のためにも、小学校の再編成は避けられません。子どもたちにとって、より良い教育環境を実現するために、一日も早く再編成を進めていただきますよう、切にお願い申し上げます。また、廃校となる予定の学校のその後の活用法も真剣に考慮して、住民に示していただきますよう、お願い致します。

請願者代表 奈良県生駒郡平群町下垣内210
小林 ゆい子 他 2,206名

紹介議員 繁田 智子 戎井 政弘
奥田 幸男 馬本 隆夫

付託委員会 文教厚生委員会

校の教育環境の整備をしなければならぬことから、用地購入の承認をいただいた。

今後の具体的な取り組みについては、議会の承認をいただかないと提案できない現状にあるとの答弁がありました。

再度、8千数百万円で用地購入をするのなら、本当にアフシプランを進める気持ちがあるのか、中断と言わず今日からでも頑張っていたかどうか考えはないかと質され、アフシプランの基本コンセプトを変える考えはない。多くの方々のご理解を得て進めていきたいが、今後については町長とよく相談していきたい旨の答弁がありました。

第5次総合計画の策定にあたり小学校の跡地問題が質され、あくまで学校再編成は第5次総合計画につながるけれども、より良い教育環境の創造が基本と考えている旨の答弁がありました。

答申としていただいた、第1案の3校の通学に適当な位置での新設校の設置で平群中央公園が財政面以外で不適当な理由を質され、法律面から学校への転用の可能性はあるが、都市公園を廃止して再編成がこの土地を利用しなければ出来ないというも

のではない。

また、中央公園は、たくさんの方が利用している施設などから不適当だと判断したとの答弁がありました。

また、大規模改修の手法で、第2案に限りなく近い案として、アフシプランを提案している旨の答弁がされました。

反対討論

アフシプランについて、町当局も認めているように理解と納得を得るものにはなっていない。答申を重視する立場から住民合意が大変大事である。

小学校の再編成は避けて通れないが、子ども達の将来と町づくりに大きな影響を与える。時間をかけて検討を重ねることが非常に大切との反対意見や、アフシプランに関していろいろな思いがあり賛否両論があつて当然だと思う。ただ議会として6月に答えが出ている。町として、しっかりとした態度で臨むと同時に策を練り直す場合もあるかも知れない。いま性急にあえて請願を採択すべきでないとの反対討論がありました。

賛成討論

グローバルの時代、企業が世界へ出ていく時代で公用語は英語であり、小学校にもALTの先生を配置する教育環境を作るためにも2校にすべきと考える。

また、いまある施設をどのようにに統廃合し、子ども達の教育環境を充実させることを考える時である。

平群は広域7カ町でトップの高齢化率であり町税も減っている。少額な金で大きな住民サービスへの政策転換が求められる。25年から始まる第5次総合計画は、それも踏まえていかなければならないとの立場から賛成討論がありました。

採決の結果、請願第4号は手少数のため不採択すべきものと決しました。

以上が当委員会に付託を受けました請願の審査結果であります。

(委員長 植田いずみ)

議員提出議案

原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める意見書

提出者 植田いずみ
賛成者 山口昌亮

(原案可決)

委員会調査報告

議会運営委員会

8月24日開催
案件 ・第5回定例会の運営について
・議会報告会の開催について

総務建設委員会 文教厚生委員会

8月26日開催
案件 ・執行後における政策評価について

公共交通対策特別委員会

10月4日開催
案件 ・「平群町地域公共交通連携計画」の進捗状況の報告について

地方議会議員の

年金制度が廃止

地方議会議員の年金制度は、議員の掛け金と自治体の負担金で運営されており、在職12年以上の議員の退職後に給付されます。

国会議員の年金制度も既に廃止されており、昨今の厳しい年金財政の状況や、市町村合併で議員数が激減するなどで積立金が枯渇し、国は制度を廃止する方針を決め、「地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律」が、平成23年5月27日に公布、6月1日に施行されました。

町政を問う！一般質問一覧

繁田 議員	1. ゴミ減量化に向けての今後の取り組み 2. 教育施設の補修改善について 3. 市民ボランティアを支えるための施策を	植田 議員	1. 子どもの医療費助成制度の拡充について 2. 子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチンの助成制度の継続について
山田 議員	1. 友好都市・姉妹都市締結について 2. 住民との情報の共有について	戎井 議員	1. 企業誘致の進捗状況について
森田 議員	1. 「小さな親切運動」の導入について 2. 土砂災害から住民を守る施策について 3. イベントや遺跡・史跡を活用した町おこしについて	窪 議員	1. 子どもの医療費無料化の対象年齢の早期拡充を 2. がん検診や特定検診等の受診率向上にさらなる対策を 3. 子宮頸がんなど3種の予防ワクチン公費助成の継続を 4. 介護支援ボランティアポイント制度の創設を 5. 平群中学校音楽室の冷房化を
山口 議員	1. 粗大ゴミの処理などの経費節減について 2. 町内の特産物を生かした事業の創設を	馬本 議員	1. 特色ある教育の推進について 2. 町内公共施設の整備計画策定について
奥田 議員	1. 道路幅員が電柱等で狭くなっている危険性 2. 駅周辺整備事業について	高幣 議員	1. 北部地域のバス、現NCバス路線は不可避であるが、高齢者を考え昼間はコミバス運行を提案します
井戸 議員	1. 6月議会で私がしました一般質問に対する町の回答に関して 2. コミュニティバスの使い方について 3. 平群町の安全性の確認について		

教育施設の

補修改善について



繁田 智子

質問

小中学校の校舎等が雨漏りなどの被害を受けており、急場しのぎで対応している。早急に修繕が必要という趣旨の記事が流布され、町民からお叱りを受けている。子どもたちの教育環境を整えるためにも、一刻も早く改善すべきではないか。

答弁

小中学校の校舎等については、年々修繕箇所が

増え、可能な限り当初予算や補正予算で計上している。総じて校舎・体育館の雨漏り、プールの水漏れや濾過器の老朽化、トイレのつまりや悪臭など。

東小学校は本館と南館は大規模改修をしていない。全体として傷みが激しい。修繕改修は他に優先して行わなければならないと考えており、現在準備を進めている。一般的に防水は10年といわれているので、耐用年数を過ぎていると全面的に防水も考えていかなければなら



友好都市・姉妹都市の 締結について

質問

東北地方を襲った東日本大震災は、大規模広範囲な災害となり復興の遅れも否めない状況です。

各方面から復興支援に駆けつけられており、平群町職員組合からも自治労の要請を受け、岩手県宮古市へ支援に駆けつけたと聞いています。

今回の災害は、行政自体も壊滅的打撃を受け、機能が麻痺した自治体もあり、姉妹都市等からの支援状況の違いにより自

治体間に復興状況の差異も生じているようです。

自治体としてもどこに行けばいいのかわからない状況。近隣自治体も被災の中、交流都市からの支援は重要だったようです。

人材・業務・文化等の交流の他、町が広域大災害に見舞われた時、住民の安全安心を守る為の救助復興等相互支援の役割からも姉妹・友好都市の提携に取り組むべきだ。



山田 仁樹



答弁

友好都市・姉妹都市だけが唯一の手段ではない。

業務提携や相互応援協定、防災協定の締結等も含め調査研究していきたい。

「小さな親切運動」の 導入について

質問

世の中が殺伐とした、無味乾燥な社会になっており、パソコンや携帯電話の発達で便利な時代になった反面、人間関係が希薄になり、凶悪で不幸な事件が発生している。

そこで、人と人のつながり、コミュニケーションを大切にする、「小さな親切運動」を、平群町は導入してどうか。また町職員が住民に笑顔で接し、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとうございます」と、心が通い合う言葉を交わすことからスタートしては？

この運動は、昭和38年3月東京大学の卒業式で当時の茅誠司学長が卒業生に贈った言葉が契機となっている。

答弁

町としては、現在「小さな親切運動」を導入する具体的な計画はないが、歴史あるこの運動から学ぶ事が多くあり、アドバイスを参考にしながら地域コミュニティの更なる推進のためにも、また生き生きとした地域社会実現のためにも、この「小さな親切運動」の主旨を念頭に啓発運動、行動を根付かせるよう検討する。



粗大ゴミの処理などの 経費節減について



山口 昌亮

質問

平群町の粗大ゴミの処理には、町職員による収集にかかる経費は別にした委託経費が年間2937万円（平成22年度）もかかっている。

22年度の内訳は、分別に1610万円、不燃物残渣の運搬に194万円、同残渣の埋め立て処理に657万円、可燃物の運搬に476万円。これらをまとめたトン当たりの処理単価は6万4800円にものぼる。隣の斑鳩町のトン当たり単価は4万950円で、平群町の3分の2以下。斑鳩町並に引き下げれば、年間1000万円以上の経費節減になる。ぜひ、節減すべきと考えるがどうか。



答弁

本町の粗大ゴミにかかる経費はお述べのとおり。

斑鳩町の処理単価が他町と比べて比較的安価であることは確認している。

他町村の状況も参考にしながら、粗大ゴミにかかる処理経費について研究し、節減につなげるよう努めたい。

質問

電柱、ガードレール等建設に際して、官民境界ギリギリ一杯にしてほしい。建柱したために、道路が狭くなり、出っ張っている事によって交通事故の原因にもなっている。はみ出して幅員が狭くなっている原因はコンクリートなど地下の障害物が支障となっている。取り除き少しでも有効幅員が確保されるようにまた、狭隘な道路は道路占有に頼らないで民地に建



奥田 幸男

道路幅員が電柱などで 狭くなっている危険性

答弁

設するよう指導してほしい。

電柱等は公益性を有しているため「許可基準に適合する限り、基本的には許可を与えなければならない」となっている。

好な状態に保ち、出来る限り有効幅員を確保し、交通に支障を及ぼさないことを常に念頭に置く中で道路管理に努めてまいりたい。

申請時に道路の使用並びに管理上支障があると判断したものにっいては、地元や地権者の方々の合意形成を行い民有地も含めて検討する。

今後道路管理者の責務で、道路を常に良





井戸 太郎

坂の多い地域の

コミュニティバスの整備について

質問

ローズタウン若葉台、若葉台の上の方、樫台、緑ヶ丘など、数百mの坂道があるのに、コミュニティバスが一切通っていない。どういう理由でそうなったのでしょうか。

高齢の方の移動が厳しく困っていると聞きました。NCバスのバス停までが遠く、病院や買い物、駅に行く方法がありません。また、この先、車に

乗れなくなつたときへの不安を多くの方から聞いています。

コミュニティバスのバス停を、これらの地域に細かく設置する必要があると考えますが、いかがでしょうか。



答弁

今回の新しく作成されたコミュニティバスの整備計画は、NCバスがある路線を除外しています。

NCバスと競合する可能性はあるからです。先ずは、平群町地域公

共交通総合連携計画を事実実験し、その中で地域からの強い要望があれば、前向きに検討していきたい。



植田 いずみ

子宮頸がん等3ワクチンの助成制度の継続を

質問

国の助成制度は、23年度（24年3月31日）までと言われている。少子化の中、大切な子ども達が健康に健やかに成長していくことは、だれもが望んでいることです。

日本でもやっとな、この3ワクチン（子宮頸がん予防ワクチン・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン）が接種できる環境が整いつつあります。

国の動向が今後、定期接種に組み込むのか、あるいは引き続きワクチンへの助成制度を24年度もおこなうのか方針が見えていません。いずれにしても平群町として引き続き3ワクチンについては、無料で接種できる体制を維持していくべきだと考えますが、どのよう



答弁

に考えているのか。また何時ごろ決めるのかお聞きをしたいと思います。

現時点で国の動向が決まっていない状況で、市町村会を通じて補助の継続を要望している。

やりたい気持ちがあっても今直ちに答えられない。来年度予算までにしっかりと考えたい。

企業誘致の 進捗状況について



戎井 政弘

質問

- ① 現在の進捗状況はどんなスケジュールで進んでいるのか。
- ② 進出企業の業種業態従業員数について。
- ③ 現在実施中の企業誘致基礎調査の進捗状況及びその目指す成果とは。
- ④ 企業誘致により、想定する町のメリット、また相手側（企業側）への優遇措置を考慮しているか。
- ③ 現在地権者アンケート実施中、9月中に企業アンケート発送予定。目指す成果は、観光施策、新たな産業、雇用の創出、地域の活性化等々。
- ④ メリットは、雇用機会の確保、税収面にとどまらず地域経済に大きな効果が期待出来る。優遇措置は奨励金制度の導入を検討中。

答弁

- ① 法定手続きを経て地区計画決定に向け取り組み中。近日中に地元の方を対象に住民説明会を予定。地権者（4名）には理解、協力を頂いている。
- ② 米菓製造会社、昭和21年創業、資本金19,900千円、従業員42名。



子ども医療費無料化の 対象年齢の早期拡充を



窪 和子

質問

子どもの医療費は子育て家庭にとつて大きな負担となっています。

現在は対象年齢が就学前まで全額無料ですが、県内ではさらに対象年齢の拡充をしている市町村が半分を超えました。

これまでも子育て支援の充実のため、対象年齢の拡充を要望する中、本年3月議会でも町長は「財政の推移を見極めながら検討してまいりたい」と答弁されました。

平群の子ども達の命と健康を守ることを最優先に考えて、中学校卒業までの無料化を目指し、まず第一段階として通院・入院とも小学校卒業までに拡充すべきではないでしょうか。

また、医療費の病院窓口払いを、無くすべきと考えます。

病院窓口の無料化は県や国保連合会・県医師会との連携が必要で、現時点では大変困難であるため、今後、県に強く要望していきたい。

答弁

町の財政はまだまだ予算を許さない状況であり、対象年齢の拡充については、子育て支援という視点で、今、しばらく考えてまいりたい。





馬本 隆夫

特色ある

教育の推進について

質問

「新学習指導要領」に基づき、小学校で外国語活動の授業時間が新設されている。町では、昨年度より外国語活動を取り入れたことは評価するが、子どもたちが、国際化の流れに乗り遅れることなく、外国語教育を身につけることは、子どもたち自身の将来に役立つことである。また現在の大人たちが、子どもたち

に残せる財産の一つは「教育を身につけること」であり、平群町は特色ある

教育を行うという観点から

新学習指導要領よりも先進的な外国語教育を推進すべきと考える。

そのために、外国語専任の講師を小学校に配置することが必要ではないか。

上を目指すべきと考えている。

外国語専任講師の配置については、一つの方法であり、教育現場の意見を聞き、財政状況も含めて、今後検討すべきと考えている。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。

外国語活動については他の教科とのバランスを考え、時間を増やすのではなく、授業の質の向上を目指す。



現NCバス路線

昼間はコミバス運行を提案



高幣 幸生

質問

現若葉台等のNCバス路線は不可避です。

北部若葉台、ローズタウン、椿台、緑ヶ丘は本町人口の30%です。どう考えているか。

そこで、現NC路線を見直し「朝夕の通学・通勤時間帯は現NC路線・昼間は高齢者や主婦が動く時間帯をコミバスで」としたミックスプランです。

特に南部から100円で東山駅へのバス代を考えると不公平です。町内の大循環が必要です。住民が納得するコミバスを全町に走らせることで、どの様に考えるか。

バスが営業路線です。変更は非常に複雑な問題もある。

コミバスとの料金格差が生じているのは認識している。

今後、地域公共交通会議や、議会についての課題提起を受けながら、より最適で建設的な結論を引き出し、北部も含めたコミバスの大循環運行の提案についても、コミバス路線の試験運行実態を見極め、次なる最適な、公共交通政策の検討を進める。

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした

バスは、陸運局の厳格な審査をパスした



町 の 話 題

平群中学校吹奏楽部 4年連続金賞受賞



平群中学校吹奏楽部は、現在1、2年生34名で、「みんなの心をひとつに、人の心に届くサウンドを響かせよう。」をモットーに活動。学校行事や吹奏楽連盟主催のコンクールやイベント・自主コンサートの他、観月祭や町の文化祭など地域行事にも参加。

吹奏楽を通して、音楽のすばらしさはもちろんのこと、日々の活動の中で仲間と互いに支え合い、心をひとつにして曲を作り上げていく喜びを感じて活動しています。

【受賞歴】第50回～53回奈良県吹奏楽コンクール中学校A組金賞、他、県アンサンブルコンテスト金管6重奏金賞、県代表で関西大会に出場。

お知らせ

第2回議会報告会を開催します!!

11月20日(日) 午後2時～4時

会場 平群町中央公民館 大ホール

昨年4月に平群町議会基本条例が施行され、みなさまに議会の活動状況をより分かりやすくお知らせするために、議員が議会報告会を行います。

第2回目の報告会を11月20

日午後2時より町中央公民館におきまして開催します。

議会報告会の内容は

- ①平成22年度決算報告について
- ②9月議会での一般会計補正予算について
- ③小学校再編成について

④コミュニティバス運行について

以上を委員長が報告します。なお、委員長報告の後、質疑応答を行います。みなさまのご参加をお待ちしております。

お詫び

議会だより232号16頁「町の話題」掲載記事の中で、地元椿井城跡整備管理組合(阪口昌弘組合長)の氏名を誤り「坂口」と掲載しました。ここに訂正し、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

議会からみなさまへ

議会だよりについて、ご意見をお寄せいただきありがとうございます。ありがとうございました。

議会だよりは、紙面の都合上議会の全てを掲載することはできません。

会議録は、議会ごとに発行しています。議事内容など詳しくお知りになりたい方は、役場1階情報公開窓口及び、あすのす平群などで閲覧できます。

なお不明な場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

(☎ 45-0012)

議会は、公開になっていますので、傍聴者名簿記入後は自由に傍聴できます。

編集後記

奈良県は災害のない安全な所と言われていましたが、先の紀伊半島豪雨により県南部は大きな被害を受けました。

十津川村では112年前にも大水害により壊滅的な被害を受け、被災者2489人は、故郷をあとに北海道に渡り新十津川町を開拓したといま

す。今回の激甚災害を聞き「本家の一大事」と町を挙げて支援活動を行っていると感じました。

いかに科学技術が発達しようとも、自然の猛威の前に人は無力です。しかし多くの人的支援により、阪神淡路大震災から神戸が復興したように、東北や県南部も必ず復興すると信じています。その日が来るまで言い続けたい「頑張ろう東北 負けるな奈良県」と。

繁田 記